

令和8年5月28日

## 2026 火山砂防フォーラム 第1回幹事会 議事録

日 時 : 令和8年5月28日(木)

9:30~10:30

場 所 : シェーンバツハサボー 3階 『六甲』

開 会	
開会挨拶	2026 火山砂防フォーラム委員会 委員長 鹿児島市長 下鶴 隆央
来賓挨拶	国土交通省 砂防部長 國友 優 気象庁 火山監視課長 藤 貴志
議 題	
議題 1	<p>◆2025 火山砂防フォーラム収支決算報告</p> <p>説明：事務局 土砂災害防止広報センター 木崎委員 資料：資料1 2025 火山砂防フォーラム収支決算書</p> <p>○土砂災害防止広報センター 木崎委員から2025 火山砂防フォーラム収支決算報告があり、異議なく承認された。</p>
議題 2	<p>◆2026 火山砂防フォーラムについて</p> <p>説明：土砂災害防止広報センター 木崎委員 資料：資料2 2026 火山砂防フォーラム実施要領案 資料3 2026 火山砂防フォーラム予算案 資料4 火山砂防フォーラム委員会規約</p> <p>○土砂災害防止広報センター 木崎委員から資料2・3を用いて、2026 火山砂防フォーラムについての実施要領案、予算案について、以下の通り、説明が行われた。</p> <p>【実施要領(案)】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・開催日は10月29日(木)、30日(金)、フォーラム会場は鹿児島県文化センター 宝山ホールとする。なお、意見交換会はホテル・レクストン鹿児島とする。</li><li>・開催テーマは火山を知り、火山とともに生きる ～大規模噴火でも</li></ul>

	<p>犠牲者ゼロを目指して～とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催プログラムは基調講演①：「火山防災トップシティーをめざして（仮題）」（講演者：下鶴隆央鹿児島市長）、基調講演②：「南九州の火山の活動と観測」（講演者：中道治久火山防災研究センター 教授）及びパネルディスカッション「次世代につなぐ桜島の魅力や防災の取組」とする。</li> <li>・現地研修会は「ハルタ山観測坑道」の研修を予定していたが、ガス濃度が高くなり、管理する京都大学より自粛要請があったため、コース内容を改めて検討し、追って報告することとした。</li> </ul> <p>以上について、意義なく承認された。</p> <p><b>【予算案】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2026年は「(一社)九州地域づくり協会」、「鹿児島観光紺ベシオン協会」の2協会に地域助成金を申請・承認され、¥6,519,683の予算計上を行った。</li> </ul> <p>以上について、支出内容も含め、意義なく承認された。</p> <p><b>【監事について】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・土砂災害防止広報センター 木崎委員から資料4を用いて監査選任について説明された。</li> </ul> <p>2010年5月の幹事会において、監事は、「前年開催地」及び「前々年開催地」として持ち回りとするので承認されたことを受けて、</p> <p>前年・・・2025年 北海道洞爺湖町  前々年・・・2024年 長崎県島原市</p> <p>とすることを意義なく承認された。</p>
<p>議題 3</p>	<p>◆次回開催地について</p> <p>説明：国土交通省 地震・火山砂防室 伊藤室長  資料：参考資料-2 火山砂防フォーラム開催実績</p> <p>○伊藤幹事会事務局員より、参考資料-2 火山砂防フォーラム開催実績を用いて説明された。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2027年開催の美瑛町は2025年の第1回幹事会において立候補の意向を示し、同年の第2回幹事会で承認されたことを説明された。</li> <li>・また、鹿児島市下鶴市長より2028年以降の開催地立候補を募ったが、開催を希望する市町村は無かった。</li> </ul>

議題 4

◆その他

説明：鹿児島市 危機管理課長 脇田課長

資料：資料-5 「火山砂防フォーラム委員会 会費の見直し」についてのアンケート調査結果

○事務局よりアンケート調査結果の説明があり、以下の改定案を提示した。

・正会員（甲）の現在の会費¥10,000 は現行通りとする。

但し、現行「当該年の火山砂防フォーラム参加費の支払いを免除する。但し免除とする参加費は、正会員の所属する自治体2名分とする。」を「当該年の火山砂防フォーラムの首長又はその代理人の参加費を免除する。（参加費免除は1自治体1名分とする）」と改定を行う。

・正会員（乙）に対しては現行通りとする。

・併せて以下の項目についても積極的に取組みこととする。

1.開催地幹事会事務局は地域の助成金制度を積極的に申請、活用する。

2.参加者の過度な負担が生じないように、プログラム参加費等の検討・調整を行う。

・以上を規約改定の上、令和9年1月1日から施行することとする。

以上の内容について、意義なく承認された。

議事、以上。

議事終了後に事務局より以下の報告があった。

○第2回幹事会は2026火山砂防フォーラムの開催当時の10月29日（木）鹿児島県文化センター 宝山ホールにて開催する。

以上